



流行中の感染症について

【 新型コロナウイルス 】

・令和5年5月より「**5類感染症**」に以降

変更点・・・

政府として一律に日常における基本的感染対策を求めることがない

新型コロナ陽性者及び濃厚接触者の外出自粛が求められなくなる

幅広い医療機関において受診可能

現在感染拡大しているのは 変異株オミクロン「KP.3」 →ワクチンが効きにくく重症化しやすい。

◆ 症状

咳、咽頭痛、発熱、消化器症状（下痢など）

※基礎疾患のある方や高齢者の方は重症化のリスクが高い。

◆ 基本的な感染対策

マスクの着用

→個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる

新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として引き続き有効

政府より一律に求められることはないが、感染対策の（例）

発熱者の把握

手指消毒や除菌

エアロゾルについてはパーティションで十分な遮断はできないため **換気の徹底**

◆ 感染後の対応



発症後5日間が他人に感染させるリスクが高いことから発症日を0日目として5日間は外出を抑える

※無症状の場合は検体採取日を0日目

5 日目に症状が続いていた場合は、熱が下がり痰やのどの痛みなどの症状が軽快してから 24 時間程度経過するまでは外出を控えることが推奨される。

引用 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後の対応について」参照

【手足口病】

夏季に流行する感染症

9 割が 5 歳以下に発症するといわれているが、大人への感染も拡大している。

大人が感染すると症状が出やすく重症化しやすいことが特徴

髄膜炎、小脳失調症、脳炎、心筋症、神経原性肺水腫などの重篤な合併症を引き起こす可能性あり。

1 度感染して免疫ができてでも何度もかかる場合もある



◆ 症状

口の中（口内炎に似る）、手のひら、測定、足背などに 2-3mm の水疱性発疹が出る。痛みを伴う発熱、全身倦怠感、悪寒、関節痛、筋肉痛などのインフルエンザに似た症状。

◆ 感染経路

感染した人の咳、くしゃみ、嘔吐物などから感染

※集団感染しやすい

◆ 発症後の対応

手洗いうがいの徹底

排泄物の適切な処理、消毒

タオルの共用をしない



【溶連性レンサ球菌感染症：溶連菌】

一般的には急性咽頭炎（のどの風邪）を引き起こす。

稀に、引き起こされることがある重篤な症状として「劇症型溶血性レンサ球菌感染症：人食いバクテリア」がある。菌は溶連菌と同様である。

突発的に発症し、敗血症などの重篤な症状を引き起こし多臓器不全が進行することのある重症感染症。

死亡率は約 30% で 48 時間以内に死亡に至る。

◆ 症状

初期症状：咽頭痛、発熱、消化器症状（食欲不振、吐き気、嘔吐、下痢）

全身倦怠感、血圧低下、腕や足の痛みや腫れ

後発症状：循環不全、呼吸不全、肝臓・腎臓症状などの多臓器不全

※日常生活を営む状態から 24 時間以内に多臓器不全が完結するほど急速。



劇症型溶血性レンサ球菌感染症（人食いバクテリア）は、ケガをした傷口からも感染する可能性あり。

基本的な感染対策が重要である。